**今治市「空飛ぶクルマ」社会受容性向上（シンポジウム企画運営）業務**

**プロポーザル企画提案　評価項目及び評価基準**

**１　審査方法**

今治市「空飛ぶクルマ」社会受容性向上（シンポジウム企画運営）業務の受託候補者の選定における審査は、今治市「空飛ぶクルマ」社会受容性向上（シンポジウム企画運営）業務プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）において行う。

**２　基本方針**

本業務の受託者の選定にあたっては、「今治市「空飛ぶクルマ」社会受容性向上（シンポジウム企画運営）業務仕様書」などの関係書類を基本とした上で、提出された企画提案書の内容やヒアリングでの説明、質疑応答から各提案者の次の項目について、評価を行い受託候補者の順位づけを行う。

ア業務遂行力

イ企画提案力

ウ取組姿勢

エ見積金額

**３　評価項目及び配点**

評価は、100点を満点とし、評価項目別に次のように配点する。

|  |  |
| --- | --- |
| *評価項目* | *配点 （満点時）* |
| 1. 業務遂行力（35点） |  |
| ア　類似業務（シンポジウム・イベント運営）の実績があるか。 | 10 |
| イ　仕様内容や今治市の関連施策、取組を十分に理解しているか。 | 10 |
| ウ　実施スケジュールが具体的で、業務を十分に実施できる体制であるか。 | 15 |
| 1. 企画提案力（45点） |  |
| ア　仕様書の内容を踏まえ、具体的な提案が示されているか。 | 10 |
| イ 「空飛ぶクルマ」の社会受容性を高め、機運醸成するための効果的な仕組みや工夫が提案されているか。 | 15 |
| ウ　本市がこれまで進めてきた「空飛ぶクルマ」の取組を踏まえ、それらを市内全域へ効果的に広げられる提案となっているか。 | 10 |
| エ　シンポジウム開催に向けて、集客効果の高いプロモーションが提案されているか。 | 10 |
| 1. 取組姿勢（10点） |  |
| ア　分かりやすく説得力のある説明・提案・質疑応答がなされたか。また、事業受託に対する熱意が感じられるか。 | 10 |
| 1. 見積金額（10点） |  |
| ア　見積額の経費が妥当であり、企画提案内容と整合性がとれているか。 | 10 |
| 合　　計 | 100 |

**４　　評価**

（１）　評価項目１から３の評価基準は次のとおり５段階で評価する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価 | 評価基準 | 配点の倍率 |
| Ａ | 満足 | ×1.0 |
| Ｂ | やや満足 | ×0.8 |
| Ｃ | 普通 | ×0.6 |
| Ｄ | やや不十分 | ×0.3 |
| Ｅ | 不十分（要件を満たしていない又は示されていない） | ×0 |

（２）　評価項目4の評価基準は提案者の見積に応じ次のとおり算出する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価基準及び配点の倍率（小数点以下切り捨て） | | |
| 評価点（10点）　× | 最低見積価格 |  |
| 提案者見積価格 |

４　評価

５　受託候補者の決定方法

　　選定委員の評価に従い順位づけを行う。ただし、評価項目１から３にかかる全委員の平均得点6割（54点）に満たない場合は要求水準を満たしていないとみなして、受託候補者としない。

（最高評価の者が複数いる場合の順位づけ）

　①　企画提案内容の評価が高い者

　②　①が複数いる場合は、提案金額の最も安価な者